



デジタル マップ公開

野草園ホームページに、GPSで現在地を把握できるデジタルマップを今春公開します。マップの上部を北または進行方向に設定することで、迷わず目的地に向かうことができます。また、13のエリアごとに生育する植物も確認できるので、園内散策にご活用ください。※3ページに詳細

I N D E X

それぞれの月の人気植物2022	P1~2
アサギマダラが野草園から静岡県へ	P3
デジタル技術を利用した施設案内	P3
第28回野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品	P4
令和4年度 イベント日程	P5

野草園は **SUKSK** のポイント対象施設です

SUKSK(スクスク)とは、楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的とした山形市の事業です。

専用のスマホアプリで料金所に掲示されたQRコードを読み取っていただくか、ポイント手帳等を提示しポイントシールを受け取ることで、1回の来園で500ポイントが付与されます(1日1回まで)。ポイントを貯めると山形県の特産品や市内店舗で使える商品券等が当たる抽選に参加することができます。

26ヘクタール(東京ドーム5.5個分)の園内を散策しながら、是非この機会にポイントをゲットしてみませんか。

詳細は「山形市 健康ポイント スクスク」で検索。

それぞれの月の人気植物 2022

ウツキ

卯月《4月》



カタクリ

4月上旬～下旬

早春、木々の葉が茂る前に花を咲かせ、夏には姿を消し地中で過ごす《春植物》のひとつです。花弁が反り返った独特の花が、春の訪れを感じさせてくれます。

トガクシソウ

4月中旬～下旬

長野県の戸隠山で最初に採取されたのでトガクシショウマとも呼ばれ、山形県の指定文化財天然記念物になっています。1属1種の日本固有種で、多雪地帯の落葉広葉樹林内に稀に生育します。



ハツキ

葉月《8月》



キキョウ

7月下旬～9月中旬

真夏の7月から咲き始めます。開いた花はもちろんですが、紙風船のような形の蕾もまた魅力的です。また、雄しべと雌しべの成熟の時間差を観察するのもおもしろい楽しみ方です。

レンゲショウマ

7月下旬～8月下旬

うつむき気味に林内に咲く姿は、森のシャンデリアや森の妖精などと呼ばれることもあります。真夏にその涼しげな姿が魅力です。下向きに咲くので、写真を撮るのに苦労します。



サツキ

皐月《5月》



オキナグサ

4月下旬～5月中旬

偉大な歌人《斎藤茂吉》がこよなく愛した花で、かつて茂吉の生家付近でもふつうに見られたようです。今では、自生地が激減し絶滅危惧植物になっています。

キバナイカリソウ

4月下旬～5月中旬

太平洋側に生育する紫色のイカリソウに対して、日本海側では主にキバナイカリソウが見られます。錠のような不思議な形の花が魅力のひとつです。



ナガツキ

長月《9月》



ウゼントリカブト

8月中旬～10月中旬

毒草のイメージが強いトリカブトですが、紫色をした帽子のような形の可愛い花を付けます。この花を見ながら木道を歩くと、秋を感じるとい方も多いようです。

カリガネソウ

8月中旬～9月下旬

上から枝垂れるように伸びる雄しべと雌しべが特徴的な花です。吸蜜にきた虫が花にとまると、上から雄しべが虫の背中に花粉を付け、別の花に行ったときに受粉するようにできています。



ミナヅキ

水無月《6月》



スモークツリー

6月中旬～7月下旬

ヨーロッパから中国にかけて分布する、雌雄異株の落葉樹です。雌株は、花が終わると不稔花（受粉しなかった花）の花柄を長く伸ばし、羽毛のようになるので煙のように見えます。

ベニバナヤマシャクヤク

6月中旬～下旬

白いヤマシャクヤクより約1か月遅れて咲きます。花が開いて3日ほどで散ってしまうので、開いた花にはなかなか出会うことができません。



カンナヅキ

神無月《10月》



カツラの黄葉

10月上旬～下旬

落葉しカサカサになると、《綿あめ》のような甘い香りがします。離れたところにいてもわかるくらいの香りです。ベンチに座って香りを楽しむながらの読書、そんな秋の楽しみ方もあります。

フサギの実

10月中旬～11月上旬

この奇抜な配色と形は、一度見たら忘れないほどの強烈な印象です。夏の清楚な白い花とはあまりにも対照的な実です。青い実の部分は草木染などに利用されます。



フミツキ

文月《7月》



エゾアジサイ

6月下旬～7月中旬

園内ではガクアジサイやアジサイに先駆けて咲きます。北海道から本州京都以北の日本海側の多雪地帯で見られるアジサイです。深山の沢沿いや、やや薄暗い場所などを好みます。

クルマユリ

7月中旬～8月中旬

葉が車輪状に付くのでクルマユリと呼ばれます。日本では最も標高の高い草地に自生するユリです。下向きに咲く小ぶりの橙色の花に、愛らしさを感じる方が多いようです。



シモツキ

霜月《11月》



ハウチワカエデの紅葉

10月下旬～11月上旬

寒い地方のブナ林などに生育する、大きい葉をもつカエデです。真っ赤に紅葉するもののほかに、環境によって明るい橙色や黄色になるものなど変化に富みます。

イタヤカエデの黄葉

10月下旬～11月上旬

葉が黄色に変化する代表的なカエデです。落葉後は木の根元が黄色い葉の海のように楽しめます。葉の縁（ふち）にギザギザ（鋸歯）がないのが特徴です。



アサギマダラが野草園から静岡県へ

令和3年9月18日の「アサギマダラ観察会」にて園内で初めてマーキングした24頭のうち、参加者の勝見亮太さんが記入した1頭について、「10月19日に静岡県掛川市で再捕獲した」とのご報告を藤井康子さんからいただきました。

直線距離で約430kmの長旅です。羽の傷みが1か月間の旅の厳しさを物語っています。

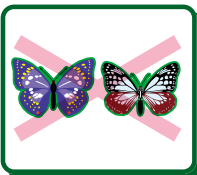
令和4年度も9月に「アサギマダラ観察会」を予定しています。マーキングに興味のある方は参加してみてもはいかがでしょうか。

また、園外で「山 YASO」のマーキングを発見した際は、当園にご報告ください。TEL：023-634-4120

夏には国蝶とされるオオムラサキも観察できます。幼虫はエノキやエゾエノキの葉を食べるので、近くで待つと、運が良ければ鮮やかな青紫色の羽のオスに出会えるかもしれません。

ログハウス付近がオススメです。

※園内でのアサギマダラ・オオムラサキの捕獲はご遠慮ください。



静岡県で再捕獲されたアサギマダラ



オオムラサキ

デジタル技術を利用した施設案内

令和3年度から4年度にかけての野草園ホームページのリニューアルにより、さらに利用しやすくなります。主な変更点をご紹介します。



①レスポンス化(令和3年11月完了)

スマートフォンやタブレット端末の画面サイズに合わせたデザインを採用したことで、散策しながらホームページを閲覧しやすくなりました。

②植物検索システム(令和3年11月公開 ※掲載植物は順次追加予定)

園内の植物をデータベース化した「植物検索システム」を公開しました。

時期や花の色などの特徴から目当ての植物を調べることができるようになりました。

③Instagram埋込み(令和3年11月完了)

トップ画面からInstagramの投稿が閲覧できるようになりました。タイムリーな情報をほぼ毎日更新しています。すべて閲覧するにはログインが必要です。

④デジタルマップ(令和4年春予定)

GPSで現在地を把握できるデジタルマップを公開します。

マップの上部を北または進行方向に設定することで、迷わず目的地に向かうことができます。

また、13のエリアごとに生育する植物も確認できます。

料金所周辺と自然学習センターにはフリーWi-Fiが設置されました。
散策の際には是非ご活用ください。



野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品決定

第28回

令和3年度の入賞作品14点から一部をご紹介します。

令和4年度は、「一般の部」に加え「小中学生の部」も新設し、9月に2部門での募集を予定しています。小中学生の皆さんもふるってご応募ください。



最優秀 『影絵』
大道寺 市三郎さん



優秀 『蜜を求めて』
佐竹 良廣さん



優秀 『ミズバショウと春霞』
穴戸 智紀さん



優秀 『春の賑わい』
鈴木 亮さん

第28回 山形市野草園写真コンテストの審査を終えて

「自然と人間の共生」をテーマに開園した野草園の魅力を探る写真コンテストも28回目を迎えました。今回は、103人から273点の応募がありましたが、これまでで最多の応募者・応募点数でなかったかと思います。これもコロナ禍の影響なのでしょうか。いずれにしても多くの方々が自然あふれる野草園の魅力に触れ、それぞれの視点で捉えた写真を多く寄せていただいたことは喜ばしい限りです。

応募作品全体を見ますとアサギマダラを代表とするチョウやトンボなどの昆虫と花を取り合わせた写真やアップ気味の花の写真が多いのは野草園の持つ特色上仕方ないのですが、野草園の自然に触れている人々の姿を捉えた写真が少なかったことは残念です。

さて、最優秀となりました大道寺市三郎さんの「影絵」は、ハナトラノオに止まったトンボをシルエットで捉えた写真ですが、27回続いた本コンテストの応募写真にはなかったもので、独自の視点で作上げたオリジナリティあふれる作品です。トンボの羽の模様まできちんと写し込まれた技術的にも優れた作品です。

優秀賞の佐竹良廣さんの「蜜を求めて」は、サラシナショウマの蜜を吸うヒョウモンチョウとアサギマダラを捉えたもので、光の当たる部分と影となっている部分を適正な露出で上手く捉えています。左奥に小さな虫が飛びオレンジ色に光っていて、写真全体に奥行き感を醸しているポイントになっています。

優秀賞の穴戸智紀さんの「ミズバショウと春霞」は、野草園に春を告げるミズバショウと立ち込める霧を捉えた作品で、画面中央を流れる小川が湿原を表現するとともに奥行き感を出しています。春霞に煙る春の野草園の情景を捉えた雰囲気のある作品です。

優秀賞の鈴木亮さんの「春の賑わい」は、新緑の中、咲き誇るクリンソウの姿を若干ハイキー気味に捉えるとともに明るい春の雰囲気を醸した美しい作品です。樹木の配置が奥行き感の表現に効果的で構図的にも優れています。春の柔らかい日差しを上手に表現した作品です。

10点の入選作品にも野草園の魅力を捉えた優れた作品がありましたが、独自の視点で捉えている点で上記の作品に一步届かなかったかと感じました。

入賞を逃した方々を含め、応募された皆さんには「自然と憩いと安らぎ」を求めて野草園を訪れる人々と自然の触れ合う姿をそれぞれの視点で撮影していただき、素晴らしい作品作りに励まれていただきますようご期待いたします。

令和3年10月

審査員代表 阿部 直美

令和4年度 イベント日程

野草園プレオープン

令和4年3月26日(土)・27日(日)

開園日

令和4年4月1日(金)



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

※都合により日程や内容の一部が変更になる場合があります。詳しくは、ホームページにてご確認ください。

展示

野草園写真展(紅の蔵)	4/1(金)~4/24(日)
第28回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展	5/14(土)~7/3(日)
絶滅危惧植物パネル展	8月
東北南3県ボタニカルアート作品展	9/4(日)~9/25(日)
第29回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展	10/16(日)~11/23(水)
野草園写真展(山形市役所)	令和5年3/13(月)~3/17(金)

観覧会

ガイドウォーキング	①開園期間(4月~11月)の日曜日と祝日 ②無休期間(4月第3月曜日~6月第2月曜日)の土曜日、9月の土曜日
バードウォッチング	4/16(土)、11/5(土)
四季観覧会	5/2(月)、6/29(水)、10/26(水) 令和5年2/15(水)、3/15(水)
ホテル観覧会	6/24(金)~6/26(日)、7/1(金)~7/3(日)
アサギマダラ観覧会	9月

イベント

サクラ祭り	4/23(土)~5/8(日)(イベントは3日間程度)
お山マルシェ	7/16(土)
アサギマダラ祭り	9/17(土)~9/25(日)(イベントは3日間程度)
キッズスノーパーク	令和5年2月(4日間)
冬のお山の雪遊び	令和5年2月(1日)

博物館実習

博物館実習	募集期間:令和4年5月~6月 実施期間:8/30(火)~9/4(日)
-------	---------------------------------------

コンテスト

第29回野草園の魅力を探る写真コンテスト (一般の部・小中学生の部)	募集期間:9/1(木)~9/21(水)
---------------------------------------	---------------------

体験教室

カブトムシの育て方教室	4/23(土)
山野草の育て方教室	5/17(火)、9/27(火)
庭木の剪定教室	5月、7月、10月
ギャザリング教室	5/28(土)
昆虫写真教室	6/4(土)
テラリウム教室	7/18(月)
虫とりに行こう	7/23(土)、7/24(日)
昆虫標本教室	7/24(日)
木工工作教室	7月、8月
薬草講座	8/27(土)
樹皮編み教室	9/10(土)
ボタニカルアート体験講座	9/21(水)
ガーデニング教室	10/8(土)

共催事業

薬草と薬膳を楽しむ健康ウォーキング 主催:株萬屋薬局 共催:野草園	9月
ノルディック&ハンモック 主催:IDEHA 共催:野草園	10月
スノーハイク体験ツアー 主催:IDEHA 共催:野草園	令和5年2月

その他

花苗プレゼント	4/1(金)(開園日)、8/11(木)(山の日)
工作コーナー	夏休み期間中(2週間程度)
団体の案内・受入れ	適時

開園時間等

- ・開園時間/9:00~16:30
- ・休園日/毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日)
(4月第3月曜日から6月第2月曜日まで無休)
- ・冬期休園/12月~3月
- ・入園料/大人:300円 高校生以下:無料
○団体割引(20人以上の場合)/大人:240円

交通案内

- ・JR山形駅より山交バス路線バス西蔵王・野草園行き(約30分)終点下車すぐ
- ・山形自動車道蔵王I.Cより西蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ(約15分)
- ・国道13号より、県道53号経由または市道三本木線経由(約10分)
- ・国道13号より、県道21号経由、西蔵王高原ラインを県庁方面へ(約15分)



野草園だより
編集・発行/山形市野草園



59号/令和4年3月発行(年1回発行)
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

野草園
ホームページ



野草園公式
Instagram

